

平成23年度

# 事業報告書



# 事業の総括

平成23年度、北九州市地域福祉活動第四次計画「住民ふくしの元気プラン」がスタートしました。

住民一人ひとりが安心して生き生きと暮らすまちづくりを目指し、これまでの取り組みの成果と課題をふまえ、関係機関・団体等との連携を図り各種事業の効果的な実施に努めました。

また、昨年3月11日に発生した東日本大震災については、いち早く現地の社会福祉協議会に対する財政的支援を行ったほか、被災地への本会職員・ボランティアの派遣など、復興に向けた支援に積極的に取り組みました。

さらに、「『絆』プロジェクト北九州会議」に参画し、ふれあいネットワーク活動で培ったノウハウを生かし、被災者の受け入れをすすめるとともに自立支援に努めました。

一方で、経済や雇用の不安定な状況が続く中で、本会を取り巻く環境も依然として厳しいことから、運営基盤の強化を目指し、昨年度に引き続き賛助会員の増強運動など自主財源確保に取り組むとともに、九州各県・指定都市社会福祉協議会等との積極的な情報交換を図りました。

## 記

### 北九州市地域福祉活動第四次計画 「基本目標」と「実施項目」

#### 基本目標Ⅰ みんなで福祉の風土を広げよう

- 1 広報・啓発の強化
- 2 福祉教育の推進
- 3 地域福祉人材の育成

#### 基本目標Ⅱ みんなで身近な地域の福祉活動を進めよう

- 1 小地域福祉活動の活性化
- 2 ボランティア・市民活動の支援
- 3 災害時の福祉救援体制づくり

#### 基本目標Ⅲ 関係機関・団体が手を結び、福祉のネットワークをつくろう

- 1 社会福祉関係機関・団体との連携・調整
- 2 共同募金会との連携
- 3 小地域福祉活動計画の推進

#### 基本目標Ⅳ 一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう

- 1 権利の擁護と相談体制の充実
- 2 社会参加・自立の支援
- 3 調査・研究・提言

#### 推進基盤の強化

### 九州各県・指定都市社会福祉協議会との連携（当番市として開催）

- 1 九州社会福祉協議会地域福祉委員会の開催
- 2 九州各県・指定都市社会福祉協議会業務部課長会議の開催
- 3 大都市社会福祉施設協議会北九州大会の開催

# 平成23年度 事業報告

～みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり～

## 基本目標 I みんなで福祉の風土を広げよう

「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めるためには、地域社会の福祉課題を住民一人ひとりが理解し、課題を抱える当事者と共に、一人でも多くの住民が解決に動き出せる仕組みづくりと、活動への参加が必要です。

そのため、様々な手段を通じて福祉の風土の醸成を図るとともに、地域の福祉活動に積極的に参加できる人材の育成に努めました。

## 目標達成のための取り組み

### 重1 広報・啓発の強化

(1) 広報紙・パンフレット・ガイドブック等の発行

- ・ テレビや新聞等のマスメディアの積極的な活用 ＜全部署＞
- ・ 広報紙の発行 ＜振興課・施設部・活動推進課・研修課・周望・穴生＞
  - 「市社協だより」・「ひと&ひと」 各年4回
  - 「ウエル新聞」 年12回
  - 市社協だよりへの「企業の社会貢献活動」記事定期掲載 年4回
  - 研修パンフレット「やさしさの広がるまちづくり」(4,500部)
  - 「周望学舎新聞」年1回、「周望かわら版」年4回
  - 「穴生学舎新聞」年1回、「穴生かわら版」年4回
- ・ 「北九州市地域福祉活動第四次計画」の発行(2,000部) ＜地域福祉課＞
- ・ ボランティア・市民活動ガイドブックの配布(500部) ＜活動推進課＞
- ・ 市内の店舗やJR駅へのチラシ・ポスター等掲示 ＜福祉人材バンク＞
- ・ 新聞紙面や折込広告などの有料広告の実施 ＜福祉人材バンク・周望・穴生＞  
(福祉人材バンク 新聞紙面広告 133万部)  
(周望・穴生 新聞折り込みチラシ 12万6千部)
- ・ 夢追塾生の夢をカタチにした情報誌の発行(年1回) ＜穴生＞
- ・ 北九州穴生ドームの利用情報の提供 ＜穴生＞
- ・ 夢追塾の講座や卒塾生の活動状況の提供(5,000部) ＜穴生＞

(2) 啓発イベント等の実施

**新**・ 各種イベントでの「プチボザウルス」着ぐるみの活用 (21回) <振興課>

- ・ 市社協表彰記念式典の実施 <総務課>
- ・ 収益事業を通じた広報・啓発事業の取り組み <振興課・地域福祉課>  
(Tシャツ 564 枚、エプロン 104 枚、ポロシャツ 571 枚の販売)  
(まちづくりクッキー販売 589 箱)

**新**・ 「新一年生へのランドセルカバー配布」の全区実施に向けた調整・支援

<振興課>

- ・ 市民ふれあいフェスティバルの開催 (参加者 4,153 名) <活動推進課>
- ・ 年長者研修大学校の講座や高齢者ボランティア情報の提供 <周望・穴生>  
(市政だよりシニアカレッジ、年長者と孫のつどい、講座等掲載 26 回)
- ・ 高齢者の生涯学習参加啓発講座の実施 (32 コース) <周望・穴生>
- ・ 年長者研修大学校をPRする短期自主講座の開催 <周望・穴生>
  - 1 日体験入学 周望 2 回 52 人、穴生 2 回 53 人
  - シニアカレッジ 周望 2 回 970 人、穴生 2 回 879 人
  - 公開講座 周望 1 回 73 人、穴生 1 回 85 人
  - 夢追塾公開講座 1 回 83 人

(3) ホームページによる地域福祉関連情報の発信

- ・ ホームページの積極的活用、情報の発信 (随時) <振興課>
- ・ 「ウェルとばた」ホームページを活用した情報発信 (随時) <施設部>
- ・ ホームページによる校(地)区社協活動の紹介 (20 校区) <地域福祉課>
- ・ 「らいと」ホームページ活用による地域福祉権利擁護事業、法人後見事業の周知及び広報 (年 4 回更新) <権利擁護・市民後見センター>
- ・ ボランティアセンターホームページの定期的更新による情報提供 (年 4 回更新) <活動推進課>
- ・ ホームページの充実 <穴生>  
(「穴生学舎つれづれ日記」随時掲載年 44 件、「夢追日記」年 20 件)

(4) 出前講演活動の実施

**重**・ 関係機関・団体と協力した出前講演活動の実施 <全部署>

- ・ 出前講演活動の効果的推進 (41 回 2,014 人) <地域福祉課>
- ・ ボランティア・市民活動啓発に関する出前講演 (5 回 561 人) <活動推進課>
- ・ 地域福祉権利擁護事業等に関する出前講演 (14 回 650 人) <権利擁護・市民後見センター>
- ・ 穴生ドームニュースポーツの出前講演 (58 回 1,138 人) <穴生>

(5) 各種事業を通じた広報啓発の取り組み

- ・ 「ウェルとばた」の地域福祉活動拠点機能のPR (7 回 138 人) <施設部>
- ・ プチボザウルス着ぐるみによる広報活動 (21 回) 【再掲】 <振興課>

## 2 福祉教育の推進

### (1) 子どもを対象とした福祉教育

#### ①地域住民主導の福祉教育

- ・ 次世代地域福祉活動育成事業（ウェルクラブ活動等）の推進  
（34 校区 参加児童 912 人） <地域福祉課>
- ・ 夏休みボランティア体験学習の実施（2 回 1,698 人） <活動推進課>
- ・ 異世代に対する伝承活動、世代間ふれあい交流会の実施  
（周望 夏休み年長者と孫のつどい 73 人） <周望>  
（穴生 シニアと孫の夏休み IN 穴生学舎 36 人） <穴生>
- ・ 留学生との交流・支援（2 回 60 人） <周望>
- ・ 世代間交流として幼稚園・小学校・中学校・高校生を対象にニュースポーツの体験事業の実施（穴生ドームフェスタ 3,526 人） <穴生>

#### ②学校等と連携した福祉教育

- ・ 社会福祉協力校指定事業（継続 20 校、新規 10 校指定） <活動推進課>

### (2) 市民を対象とした福祉教育

#### ①住民啓発講座等による福祉教育

#### 新・ 校(地)区社協機能を活かした住民福祉講座の開催 <地域福祉課>

（13 校区 686 人）

- ・ 市民が認知症を学ぶ「認知症サポーターキャラバン事業」の実施  
（認知症サポーター養成講座 130 回、4,871 人） <地域福祉課>  
（キャラバン・メイト養成講座 1 回、30 人）  
（キャラバン・メイトフォローアップ講座 1 回 31 人）  
\*登録サポーター累計 31,189 人、登録メイト累計 234 人
- ・ 社会福祉施設及び市民センターにおける体験学習の実施 <周望・穴生>  
（44 回）

#### ②年長者研修大学校による福祉教育

- ・ 年長者研修大学校全研修生に対する共通科目としての福祉教育の充実  
（年間 32 コース） <周望・穴生>

## 3 地域福祉人材の育成

### (1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の育成

- ・ 新たなボランティア・市民活動の担い手の育成 <研修課>
  - 市民講演会（1 回 136 人）
  - ボランティア大学校まちづくりセミナー（2 回 11 日間 225 人）
- ・ 年長者研修大学校修了生等の地域・ボランティア活動促進 <周望・穴生>
  - 地域活動リーダー養成、地域貢献専門コース（各学舎 3 回 148 人）
  - 研修生の地域清掃活動、通学路での見守り活動（周望 173 回 507 人）

- ・ 地域活動情報センターでの人材育成、コーディネート及び情報収集・発信、地域活動の支援、修了後の活動支援 ＜穴生＞

- ボランティアフェスタ I N八幡西への参画（傾聴ボランティア他）
- 地域活動情報センターとの連携（地域コーディネート 68 回）
- 傾聴ボランティア入門講座の開催（7 回 147 人）

(2) 小地域福祉活動者（地縁型ボランティア）の人材育成

- ・ 福祉協力員リーダー研修の開催 ＜地域福祉課＞

（地区民児協会長研修として 1 回 122 人）

- ・ 校(地)区社協活動者交流会の開催（1 回 37 校区 273 人） ＜地域福祉課＞

- ・ 小地域福祉活動者（地縁型ボランティア）の人材育成 ＜研修課＞

- トップセミナー（1 回 168 人）
- 校(地)区社協新任役員研修（1 回 68 人）
- まちづくりゼミナール（1 回 5 日 88 人）
- 地域福祉活動専門研修（1 回 156 人）
- 新任福祉協力員等研修（9 回 427 人）
- 現任福祉協力員等研修（7 回 523 人）
- 地域支援ボランティア研修（7 回 21 日 373 人）
- 校(地)区社協 個別研修（7 回 9 日 443 人）

- ・ 地域活動を目指す研修生と地域活動者との交流事業実施 ＜周望・穴生＞

(3) テーマ型ボランティア・市民活動者の人材育成

- ・ テーマ型ボランティア・市民活動者の人材育成 ＜研修課＞

○テーマ別研修

傾聴ボランティア養成講座（1 回 3 日 58 人）

福祉有償運送運転協力者研修（4 回 8 日 122 人）

○スキルアップ研修

ボランティアリーダー研修（1 回 2 日 23 人）

傾聴ボランティアフォローアップ研修（1 回 12 人）

ボランティア活動者研修（1 回 39 人）

- ・ 高齢者のキャリアを生かしエイジレスタレントとして養成、活動を支援（講師活用 各学舎 5 人） ＜周望・穴生＞

- ・ シルバーバンク、高齢者ボランティア等の活性化と活動支援 ＜周望＞

- ・ パソコン講座の講師補助ボランティアの育成と情報発信 ＜周望・穴生＞  
（周望 5 人 36 回、穴生 9 人 90 回）

- ・ 健康・体力づくり指導者の研修及び健康ボランティアの養成 ＜穴生＞  
（健康ボランティア養成研修 2 日 47 人）

- ・ シニア世代の社会貢献や起業支援を行う夢追塾事業の充実 ＜穴生＞  
（6 期生 43 人 内男性 23 人 女性 20 人）

(4) 企業におけるボランティア・市民活動者の人材育成

- ・ 民間社会福祉施設従事者の資質向上を目指した研修会の実施

(職場の安全研修 1回 77人)

<振興課・福祉人材バンク>

**新** **重**

- ・ ボランティアビギナーズ研修 (3回 250人)

<研修課>

- ・ 送迎ボランティアをはじめとする講座実施による活動者育成

(実施1団体 19人)

<活動推進課>

(5) ボランティア・市民活動支援者の育成

- ・ ボランティア・市民活動支援者の育成

<研修課>

○ボランティアコーディネーター研修 (1回 2日 54人)

**新** **重**

○ ボランティアを快く受け入れるための施設長研修 (1回 28人)

## 基本目標 II みんなで身近な地域の福祉活動を進めよう

地域社会の福祉課題の解決のためには、それぞれの地域において公私の社会福祉関係者と共に、幅広い住民が地域の福祉活動へ参加することが必要です。

このため、支援を必要としている人たちのニーズを把握し、支援を必要としている人がその課題解決に向かえるよう、住民の主体的参加による福祉活動に取り組みました。

### 目標達成のための取り組み

#### 1 小地域福祉活動の活性化

(1) 校(地)区社会福祉協議会活動メニュー事業の実施 <地域福祉課>

**新**・ 高齢者のサロン事業の推進 (55 校区)

- ・ 次世代地域福祉活動者育成事業（ウェルクラブ活動等）の推進【再掲】  
（地域福祉活動専門研修 1 回 43 人）  
（ウェルクラブ活動 34 校区社協 参加児童 912 人）

**重**・ 校(地)区単位の小地域福祉活動計画づくりの普及・推進

- （地域福祉活動専門研修 1 回 113 人）  
（小地域福祉活動計画策定研修（ふくしプランニング工房）6 回 延 265 人）  
（活動計画策定校(地)区社協 10 校区）
- ・ 地域特性に応じた校(地)区社会福祉協議会活動への支援
- ・ 小地域福祉活動の手引きの発行（6,000 部）

(2) 「ふれあいネットワーク活動」の充実・強化

- ・ 国庫補助事業「安心生活創造事業」の活用による充実・強化<地域福祉課>  
（8 校区でモデル事業実施）

**重**・ 民生委員・児童委員活動、老人クラブ友愛訪問活動との連携強化

<地域福祉課>

- （市いのちをつなぐネットワーク担当係長との意見交換会 1 回 19 人）  
（地区民児協会長研修 1 回 122 人）
- ・ 地域福祉権利擁護事業、法人後見事業利用者における、民生委員やふれあいネットワーク等地域住民を含めた支援ネットワークの充実  
（校(地)区社協等への出前講演 8 回 456 人【再掲】）

<権利擁護・市民後見センター>

(3) テーマ型ボランティア・市民活動団体との協働

**重**・ 校(地)区社協とテーマ型ボランティア・市民活動団体の協働の推進

<活動推進課>

- ・ 児童いきいきサロン応援団モデル事業の実施（2 施設） <活動推進課>



- ・ 健康と福祉のまちづくり事業の支援 〈周望・穴生〉  
(地域活動コーディネーター専任配置)
- ・ 年長者研修大学校修了者等の小地域福祉活動への結びつきの促進 〈周望・穴生〉
- ・ 「ふれあい生き生きサロン」の実施 (22回 1,804人) 〈穴生〉
- ・ 高齢者による子育て活動への支援 (3回 361人) 〈穴生〉
- ・ 小地域活動の健康づくり支援としてニュースポーツ出前事業、健康ボランティアによる活動支援 〈周望・穴生〉  
(ニュースポーツ出前講座 58回 1,138人)  
(健康ボランティア活動支援 45回 1,623人)

- (4) 校(地)区社会福祉協議会会長会議・「ふれあいネットワーク活動」担当者会議の開催 〈地域福祉課〉
- ・ 校(地)区社協会長会議・「ふれあいネットワーク活動」担当者会議への参画

## 2 ボランティア・市民活動の支援

### (1) ボランティア・市民活動への支援

- ・ 各種基金助成金等の情報提供、申請協力による活動支援 〈振興課〉  
(情報提供 22件、申請協力 7件)
- ・ ウェルとばたの管理運営事業を活用して、ボランティア活動の場や市民活動の発表の場の提供 〈施設部〉
- ・ 施設を有効活用した市民参加型のにぎわい創出事業の実施 〈施設部〉  
(「ステージでグランドピアノを弾いてみませんか」 1回 22人)  
(「個展を開いてみませんか」 16件)
- 新・ 夏祭りイベントで、にぎわいを創出する「オープンカフェ」の実施 (1回) 〈施設部〉
- 新・ ウェルとばた全体で、市民のエコ活動の啓発と推進への取り組み(空き缶リサイクル運動を展開しているNPO法人の支援) 〈施設部〉
- ・ ボランティア活動保険加入助成(活動者助成 22,884人) 〈活動推進課〉
- ・ 研修参加支援(全国ボランティアフェスティバル 3人) 〈活動推進課〉
- ・ 活動相談・情報提供機能の充実 〈活動推進課〉
- ・ 福祉教材の貸与(396件) 〈活動推進課〉
- ・ 年長者研修大学校の地域開放事業等の実施 〈周望・穴生〉  
(研修生活体験 33回、講師活用 12回)  
(傾聴ボランティア入門講座 5回 105人、ボランティア体験 2回 42人)
- 新・ 企業の東日本震災支援活動への協力(福祉車両の提供斡旋) 〈振興課〉

(2) ボランティア・市民活動ネットワークの構築

- 重**・ 区を横断する市域のボランティア・市民活動ネットワーク構築の推進  
(専門委員会による講演会・活動報告会 148人) <活動推進課>
- 新**・ 「絆プロジェクト北九州会議」への参画と被災者支援 <全部署>
  - ・ コーディネーターの連絡機関組織化の推進 <活動推進課>
  - ・ 区域におけるボランティア機関・団体との連携 <周望・穴生>  
(ボランティアグループ等と地域とのコーディネート 68回)
  - ・ 北九州シニアネットワークアカデミー機能の活用【再掲】 <周望・穴生>  
(地域活動コーディネーター専任配置)
  - ・ 年長者研修大学校ボランティア指導員の登用(11人) <周望・穴生>
  - ・ 夢追塾ナビゲーター補への登用(16人) <穴生>

3 災害時の福祉救援体制づくり

(1) 災害時の福祉救援体制づくり

- ・ 民生委員児童委員と連携した福祉救援活動への取り組み推進 <振興課>
- ・ 校(地)区社協活動を活かした災害時の福祉救援体制づくりの普及  
(実施要綱の見直し 出前講演6回 295人) <地域福祉課>
- ・ 年長者研修大学校研修生に対する防災意識の高揚と救急救命講習及び教室の実施(14回 437人) <周望・穴生>
- ・ 地域団体・福祉施設との防災協定に基づく防災訓練の実施 <周望・穴生>  
(周望 2回、穴生 2回)
- ・ 災害時の災害ボランティアセンターとの連携と支援体制整備 <周望・穴生>
- ・ 周望学舎の宿泊施設を生かした緊急避難場所としての活用 <周望>
- ・ 穴生ドームの緊急避難場所としての活用 <穴生>

**重** (2) 災害ボランティアセンターの設置に向けた体制整備

- ・ 東日本大震災に係る災害ボランティアセンター支援職員派遣 <全部署>  
(13班 26人の派遣)
- ・ 九州ブロック社会福祉協議会と連携した被災地社協支援 <全部署>
- ・ 絆プロジェクト北九州会議事務局への職員派遣 <活動推進課>
- ・ 災害救援ボランティアリーダー養成 <活動推進課>  
(防災講座 70人)  
(災害ボランティアリーダー被災地派遣 3班 42人)
- ・ 北九州市防災会議への参画 <活動推進課>
- 新**・ 東日本大震災に対する支援活動(募金)の実施 <全部署>

## 基本目標 Ⅲ 関係機関・団体が手を結び、 福祉のネットワークをつくろう

市民の価値観や生活様式の多様化によって、地域の福祉課題についても複雑化し、いくつかの課題を同時に抱える場合もあります。

そのため、保健、医療、福祉等の関係機関・団体との連携を強め、総合的に課題の解決に取り組みました。

### 目標達成のための取り組み

#### 1 社会福祉関係機関・団体との連携・調整

##### (1) 民生委員・児童委員との連携

- ・ 市民生委員児童委員協議会事務局の運営 <振興課>  
(会議 34回、研修会 5回)
- ・ 市・区民生委員児童委員協議会の相互連携の推進 <振興課>
- ・ 民生委員互助共励事業の実施による民生委員活動の充実と推進 <振興課>  
(弔慰金・見舞金等の支給、指定地区民児協事業の実施)
- ・ 民生委員・児童委員と福祉協力員等との地域情報共有化による円滑な連携の推進 <振興課>

##### (2) 専門職等の参加による連絡調整会議の充実

- ・ 地域包括支援センター派遣職員と地域福祉活動者との協力体制づくり <生活福祉課>
- 重**・ 専門職等の参加による連絡調整会議の活性化 <地域福祉課>  
(全市で延べ1,248回)

##### (3) 社会福祉関係機関・団体による地域の福祉課題の啓発活動

- ・ 校(地)区社協機能を活かした住民福祉講座の開催【再掲】 <地域福祉課>  
(13校区 686人)
- ・ 高齢者の地域活動促進のための地域活動者との交流授業の実施  
(研修生の市民センター活動見学 10回 132人) <周望・穴生>
- ・ 社会福祉施設及び市民センターにおける体験学習と活動支援【再掲】  
<周望・穴生>
- ・ 年長者研修大学校での老人クラブ研修の実施(9回 525人) <周望>
- ・ 高齢者の学習ニーズ等の調査及び情報収集と調査研究 <周望・穴生>  
(研修生アンケート 2回 追跡調査 1回)
- ・ 夢追塾塾生のニーズ調査及び卒塾生の実態調査 <穴生>  
(夢追塾運営に関する調査 5回)

- ・ 地域活動需給調整のための、社会福祉施設や地域包括支援センターにおけるニーズ調査（研修終了後 1回） <周望・穴生>
  - ・ 年長者研修大学校修了後の地域活動の追跡調査 <周望・穴生>  
（各学舎 50人 年1回）
  - ・ 北九州シニアネットワークアカデミーの運営と調査・提言 <周望・穴生>  
（運営改善委員会への諮問と提言 3回）
- (4) 各施設協議会等との連携
- 新**・ 大都市社会福祉施設協議会北九州大会の開催（当番市） <振興課>  
（参加 15都市、175名）
- 新**・ 各施設協議会相互の連絡・協議の場である施設協議会連絡会の設置 <振興課>
- ・ ウェルとばた入居者との情報交換等による福祉団体等とのネットワークづくりの推進 <施設部>
  - ・ ウェルとばた入居団体及び消防署との総合防火・防災訓練 <施設部>  
（年2回 5月 200人、11月 170人）
- (5) 福祉の職場の就労斡旋
- ・ 「介護有資格者就労支援セミナー」の開催（2回 67人） <福祉人材バンク>
  - ・ 「福祉の職場 合同就職面談会」の充実 <福祉人材バンク>  
（2回 求人 84施設、求人 244件 678人、求職者 301人 採用 31人）
  - ・ 市主催「UIターン事業」への協力 <福祉人材バンク>
  - ・ 社会福祉施設等との情報交換による求人の開拓 <福祉人材バンク>  
（求人数 785件 2,034人、採用者数 81人）
  - ・ 求職登録者への定期的な求人情報の提供 <福祉人材バンク>
  - ・ 福岡労働局、ハローワークとの連携 <福祉人材バンク>
  - ・ 福祉サービス事業従事者が安全・安心に働ける職場環境整備の推進  
（職場の安全研修 1回 77人）【再掲】 <振興課・福祉人材バンク>
  - ・ 年長者研修大学校修了生等の活動拠点の確保 <周望・穴生>
- (6) 社会福祉施設・団体への支援
- ・ 民間社会福祉事業従事者共済事業の実施 <振興課>  
（加入 196施設、4,115人、共済事業担当者会議 1回 77人）
  - ・ 民間社会福祉事業従事者共済事業担当者研修会の実施 <振興課>  
（職場の安全研修 1回 77人）
  - ・ 各社会福祉施設協議会等への福祉情報提供や行事への参加 <振興課>  
（関係省庁、全社協等の情報を社会福祉施設へ提供）  
（保育所連盟行事、児童養護施設協議会行事等への参加）
  - ・ 民間社会福祉施設整備資金等貸付事業の実施 <振興課>  
（2件 2,500万円）

- ・ 寄付行為に伴う寄贈施設の斡旋 ＜振興課＞  
(1 団体からの寄贈物品を 5 施設・団体へ斡旋)
- ・ 社会福祉施設・団体を対象とした地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業説明会の実施(5 回 197 人) ＜権利擁護・市民後見センター＞
- ・ 地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業利用者の個別ケア会議への参加 ＜権利擁護・市民後見センター＞

## 2 共同募金会との連携

- (1) 共同募金会各区支会連絡協議会業務の活性化
- ・ 各区共同募金会との情報交換会の開催 ＜振興課＞  
(定例の区社協事務局長、市社協課長連絡会議で協議)
  - ・ 県共同募金配分委員会、推進委員会への参画 ＜振興課＞  
(福岡県共同募金会配分委員会・推進委員会参加)
  - 新・ 東日本大震災義援金の積極的支援 ＜全部署＞  
(各区社協との協働による募金箱の設置)
- (2) 共同募金の広報活動推進強化
- ・ 県共同募金会と連携した広報活動の実施 ＜振興課＞
  - ・ 各区支会合同の広報活動の実施 ＜振興課＞  
(ふれあいフェスタ 2011 で共同募金啓発パネル展の実施)
- (3) 歳末たすけあい募金の地域支援事業への転換
- ・ 区の状況に応じた段階的な転換の支援 ＜振興課＞  
(定例の区社協事務局長、市社協課長連絡会議で協議)

## 3 小地域福祉活動計画の推進

- (1) 校(地)区単位の小地域活動計画づくりの推進 ＜地域福祉課＞
- 重・ 校(地)区単位の小地域福祉活動計画づくりの普及・推進【再掲】  
(地域福祉活動専門研修 1 回 113 人)
  - 新・ 小地域福祉活動計画策定研修(ふくしプランニング工房)の開催  
(6 回 延べ 265 人 活動計画策定校(地)区社協 10 校区)

## 基本目標 IV 一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう

誰もが地域の中で安全で安心した生活ができるよう、関係機関・団体の連携のもとで、支援を必要としている人に対する活動を行ないます。

また、住民の日常生活でのニーズを把握し、住民の生活感覚に沿った提言を行い、新しい活動の仕組みづくりに取り組みました。

### 目標達成のための取り組み

#### 1 権利の擁護と相談体制の充実

##### **重** (1) 地域福祉権利擁護・法人後見事業の充実 <権利擁護・市民後見センター>

- ・ 権利擁護に関わる総合相談機能の強化  
(平成 23 年度末 地域福祉権利擁護事業 実契約者 292 人)  
(平成 23 年度末 法人後見事業 成年後見人等受任数 42 人)
- ・ 権利擁護に関する相談機能の強化  
(相談件数 619 件)
- ・ 地域包括支援センター等と連携した被虐待者への対応
- ・ 関係団体との連携による効果的、効率的なサービスの実施（行政、介護事業所、障害者支援団体、ホームレス支援団体等）  
(金銭管理サービス総回数 5,094 回 生活支援サービス総回数 5,108 回)
- ・ 専門機関との連携による法人後見事業の円滑な遂行（家庭裁判所、成年後見センター「みると」、弁護士会、司法書士会、社会福祉士会等）  
(法人後見事業活動総回数 1,058 回)
- ・ 職員のスキルアップと専門知識の習得  
(支援員研修会の実施 1 回 33 人)  
(支援員、専門員合同研修会の実施 1 回 33 人)  
(ブロック会議の実施 2 回 66 人)  
(参加研修会延べ回数 7 回 11 人)
- ・ 地域福祉権利擁護事業利用者の成年後見制度への移行支援  
(法人後見事業移行件数 3 件)
- ・ 市民後見人養成研修の実施と、市民後見人として個人で選任される仕組みづくりの検討  
(基礎研修 6 日間 延べ 72 人)  
(実務研修 10 日間 延べ 125 人)  
(公開講座 1 回 70 人、フォローアップ研修 1 回 40 人)

(2) 要支援者への情報提供や相談機関等の紹介

- ・ 心配ごと相談所の運営 ＜振興課＞  
(相談件数 1,136 件 解決 427 件、他機関 482 件 その他 150 件)
- ・ 求人、求職に対する相談と情報把握の充実 ＜福祉人材バンク＞  
(求人相談 4,348 件、求職相談 4,397 件)
- ・ 生活福祉資金相談コーナー窓口での相談受付 ＜振興課＞  
(窓口等相談件数 4,050 件、教育支援資金制度説明会開催 2 回)
- ・ 小地域福祉活動を活用した要支援者への情報提供の強化 ＜地域福祉課＞  
(13,730 世帯 105,445 回)
- ・ 地域福祉権利擁護事業利用者への生活支援サービスによる情報提供や苦情申し立て支援 ＜権利擁護・市民後見センター＞  
(生活支援サービス総回数 5108 回)【再掲】

(3) 社会福祉施設と連携した相談体制の充実

- ・ 介護サービス相談員派遣事業の実施 ＜生活福祉課＞  
(26 事業所拡大 計 144 事業所 派遣回数 1,919 件 相談 17,755 人)  
(介護サービス連絡会開催 年 4 回)
- ・ 権利擁護事業の理解の促進と福祉サービス等情報の提供 ＜周望・穴生＞  
(研修生への社協活動、サポーター事業等紹介 7 回 4218 人)

## 2 社会参加・自立の支援

(1) サロン事業の推進

- 新** ・ 高齢者のサロン事業の推進 (55 校区)【再掲】 ＜地域福祉課＞
- ・ 高齢者が高齢者を支援する「ふれあいいきいきサロン」事業の実施【再掲】  
(22 回 1,804 人) ＜穴生＞

(2) 高齢者・障害のある人、母子・父子家庭等への支援 (生きがい・健康づくり等)

- ・ 心配ごと相談員研修の開催 (1 回 144 人) ＜振興課＞
- ・ 障害のある人とのふうせんバレーボール大会の開催 (校(地)区社協活動者交流会) (1 回 37 校区 273 人)【再掲】 ＜地域福祉課＞
- ・ 高齢者地域交流支援通所事業の実施 ＜生活福祉課＞  
(市民センター49 箇所 週 2 回 日数 4,683 日 53,603 人)
- ・ 高齢者見守りサポーター派遣事業の充実 ＜生活福祉課＞  
(利用登録者 95 人 派遣回数 377 回)  
(サポーターフォローアップ研修 1 回)
- ・ 市民の健康づくり支援として健康ウォーキング、ニュースポーツ出前事業の実施 (健康ウォーキング等 357 回 13,618 人) ＜穴生＞
- ・ 老人クラブ連合会との連携による会長研修事業等の実施 ＜周望・穴生＞  
(単位老人クラブ新任会長宿泊研修 4 回 191 人)  
(全市老人クラブ女性リーダー宿泊研修 2 回 169 人)  
(老人クラブ会員研修 3 回 165 人)

- ・ シニア世代の社会貢献や起業支援を行う夢追塾事業の実施 <穴生>
- ・ 地域活動を目指すコースの実施 <周望・穴生>
- ・ 高齢者の生涯学習に対する意識啓発と受講機会の拡大を図るための大学活用型校外授業の実施（周望 2回 824人、穴生 2回 879人） <周望・穴生>
- ・ 高齢者の社会参加活動支援（ボランティア、クラブ、同好会、同窓会）のための場の提供（周望 5,277人、穴生 7,381人） <周望・穴生>
- ・ 高齢者の健康・体力づくり事業及び「健康プログラム」による運動処方せん  
の提供（体力テスト 3回 86人） <穴生>
- ・ 高齢者の特性に合わせた自主講座の実施 <周望・穴生>
  - シニアカレッジ、一日体験講座等の多様な短期講座の開催【再掲】  
（周望 15講座 4,284人、穴生 10講座 2,466人）
  - はつらつニュースポーツ塾 10回 163人
  - テニス教室 10回 287人
  - ニュースポーツ振興の高齢者スポーツ大会 2回 430人
  - ニュースポーツ解放デー 12回 638人
- ・ 研修生・夢追塾塾生との意見交換会・交流会の実施 <穴生>  
（北九州市長と夢追塾6期生及び卒塾生との交流会 1,045人）

(3) 小規模作業所等と連携した社会参加・自立の支援

- ・ 地域活動情報支援センターでの人材育成と需給調整、コーディネート及び情報収集・発信、地域活動の支援、修了後の活動支援【再掲】 <穴生>  
（ボランティアグループ等と地域とのコーディネート 68回）

(4) ボランティア活動による在宅高齢者の支援

- ・ シルバーひまわりサービス（送迎 3,882件） <活動推進課>
- 新・ シルバーひまわりサービス拡充モデル事業の実施 <活動推進課>  
（40歳～65歳未満の在宅要支援者 6件）
- ・ 腕自慢おまかせサービス（98件） <活動推進課>

(5) 生活福祉資金貸付制度の運用

- ・ 生活福祉資金貸付制度の運用による自立の支援 <振興課>
  - （障害児（者） 10件 15,470千円）
  - （母子、父子 37件 21,528千円）
  - （低所得者 706件 198,605千円）
- 新・ 東日本大震災被災世帯への緊急小口資金特例貸付等の実施 <振興課>
  - （緊急小口資金（特例） 6件 550千円）
  - （生活復興支援資金 1件 1,200千円）



### 3 調査・研究、提言

- (1) 地域福祉活動のあり方に関する委員会の開催
  - ・ 総合企画委員会の開催（3回 正副委員長会議3回） <地域福祉課>
  - ・ 市長と市社協正副会長、区社協会長との意見交換会 <総務課>
- (2) 小地域福祉活動の実態把握及び調査・研究、提言
  - ・ 校(地)区社協活動の実態把握 <地域福祉課>
- (3) 民生委員・児童委員活動における住民ニーズ・課題の把握
  - ・ 民生委員の負担軽減委員会への参画・提言 <振興課>
- (4) ボランティア・市民活動実態調査
  - ・ グループ把握数（690団体の現状把握、分析） <活動推進課>
- (5) 大都市社会福祉施設協議会要望活動の実施
  - ・ 厚労省、全社協へ各施設代表者と陳情 <振興課>

## 推進基盤の強化

社会福祉法は、地域福祉の推進役として社会福祉協議会を位置づけています。

校(地)区社会福祉協議会・区社会福祉協議会・市社会福祉協議会は、一体となって「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めていくために、各域社協で「組織づくり」「活動拠点の確保」「活動点検」「役割分担」「財政基盤の強化」「人材育成」の視点を持って推進基盤の強化を行い、連携・協働しながら、地域福祉活動を計画的に進めました。

### 1 校(地)区社会福祉協議会への支援

- ・ 役員会・連絡調整会議等の充実支援 <地域福祉課>
- ・ 市民センター等の活用支援 <地域福祉課>
- ・ 「ふれあいネットワーク活動推進事業」の実績報告書等による活動点検の支援 <地域福祉課>
- ・ 校(地)区社協活動の活性化による地域での役割分担の明確化 <地域福祉課>
- ・ まちづくりクッキー販売等自主財源確保の取り組み支援 <振興課>

### 2 区社会福祉協議会への支援

- ・ 総合企画委員会での点検・評価(3回、正副委員長会議3回) <地域福祉課>
- ・ 区における収益事業、賛助会員等の拡充の支援 <振興課>
- ・ 区民協事務局体制整備の支援 <振興課>
- ・ 財団等助成金の活用促進 <振興課>

### 3 市社会福祉協議会での基盤強化

- 新**・ 区役所ワンストップサービス化に伴う区ボランティア・市民活動センターの充実 <活動推進課>
- ・ 総合企画委員会での点検・評価(3回、正副委員長会議3回) <地域福祉課>
- ・ 広報啓発を兼ねた収益事業の展開 <地域福祉課>
- ・ 市・区社会福祉協議会共同自主事業の検討 <総務課>
- ・ 財政問題の検討 <総務課>
- 重**・ 賛助会員増強運動の推進 <振興課>
- ・ 自主財源確保の企画・提案 <振興課>
- ・ 収益事業の拡充 <振興課>
- ・ 共同募金の活性化支援 <振興課>
- ・ 第二期指定管理業務の推進 <施設部・北九州ニアネットワークカレッジ>  
(ウェルとばた、年長者研修大学校、北九州穴生ドーム、夢追塾)
- ・ 社協各部署の物品購入一元化及び一括入札による経費削減 <施設部>

- ・ 省エネによる更なる経費削減（電気使用量 20%削減） <施設部>
- ・ 省エネ・省資源による施設運営の研究 <周望・穴生>  
（研修室等へのグリーンカーテンの設置による暑さ対策の実施）
- ・ 研修生の環境リサイクル運動への取り組みとリデュース・リユースの啓発 <周望・穴生>
- ・ 人材育成計画の検討 <総務課>
- ・ 先進地視察研修の実施 <総務課>

## 常設委員会

市社会福祉協議会が実施する事業を適正に遂行するよう、各種常設委員会にて協議を行っていきます。

- ・ 生活福祉資金調査委員会（1回） <振興課>
- ・ 民間社会福祉施設整備資金貸付審査委員会（2回） <振興課>
- ・ 民間社会福祉事業従事者共済事業運営委員会（1回） <振興課>
- ・ 表彰審査委員会（2回） <総務課>
- ・ 総合企画委員会（3回） <地域福祉課>
- ・ 権利擁護・市民後見センター監視委員会（4回） <権利擁護・市民後見センター>
- ・ 権利擁護・市民後見センター運用委員会（16回） <権利擁護・市民後見センター>
- ・ 福祉人材バンク事業運営委員会（1回） <福祉人材バンク>
- ・ ボランティア・市民活動センター運営委員会（3回） <活動推進課・研修課>
- ・ 北九州シニアネットワークアカデミー運営改善委員会（3回） <穴生>

## 専門委員会

- ・ ボランティア・市民活動団体ネットワークに関する専門委員会（3回） <活動推進課>

## 九州各県・指定都市社会福祉協議会との連携

- 新・九州社会福祉協議会連合会 地域福祉委員会の開催（当番市） <地域福祉課>
- 新・九州各県・指定都市社会福祉協議会 業務部課長会議の開催（当番市） <地域福祉課>
- 新・大都市社会福祉施設協議会北九州大会の開催（当番市）【再掲】 <振興課>